

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成26年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立県民の森保健休養施設	所管課	県有林課
所在地	南アルプス市上市之瀬1760 外	設置年月日 (改築年月日等)	昭和43年8月8日
管理方式	指定管理者(南アルプス市、平成26年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立県民の森保健休養施設設置及び管理条例		
設置目的	青少年その他の県民が恵まれた自然の中で緑に親しみ、人と自然との貴重なふれあいを体験する場を提供することにより、緑化思想の高揚及び林業知識の普及を図り、併せて県民の保健休養に資するため設置する。		
主な施設内容 (定員等)	面積:953ha 主な施設:森林科学館284㎡、森林科学館分室129㎡、展望台24㎡、見晴らしあずま屋1棟、菖蒲池あずま屋1棟、アヤマ平避難小屋1棟等		
主な業務内容	施設等の維持保全に関する業務 森林に関する知識の普及のための催しの実施に関する業務 自然に関する知識の習得に資するレクリエーション及び野外活動の機会の提供に関する業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	県民の森南アルプス市施設(ウッドビレッジ、グリーンロッジ等) 山梨県森林公園金川の森(どんぐりの森、スポーツの森、かぶとむしの森等) 山梨県立武田の杜保健休養林(健康の森、鳥獣センター等)
---------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度 (目標値)
利用者数	森林科学館	8,694	9,045	8,482	
	利用者数合計	8,694	9,045	8,482	
	目標値	12,500	13,000	10,000	11,000
	目標値設定の考え方及びその理由	H21～25年の指定管理者提案内容 (H19実績値の16%増)	H21～25年の指定管理者提案内容 (H19実績値の20%増)	H26～30年の指定管理者提案内容 (平均9千人の1千人増)	H26～H30の指定管理者提案内容 (平均9千人の2千人増)
	対24年度比	100.0%	104.0%	97.6%	126.5%
稼働率					

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成25年度	平成26年度 (計画値)	平成26年度 (実績値)	平成27年度 (計画値)
収 入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	15,352,000	14,592,000	14,592,000	14,492,000
	その他	199,642	200,000	38,503	300,000
	収入合計(A)	15,551,642	14,792,000	14,630,503	14,792,000
支 出	人件費	9,989,607	9,200,000	9,148,353	9,723,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	6,051,166	5,592,000	5,472,588	5,069,000
	うち外部委託費(B)	2,189,105	1,692,000	1,864,054	2,274,000
	支出合計(C)	16,040,773	14,792,000	14,620,941	14,792,000
収支差額(A-C)		489,131	0	9,562	0
外部委託比率(B÷C)		13.6%	11.4%	12.7%	15.4%
利用者一人当たりの経費		1,697.3	1,459.0	1,720.3	1,317.5

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成26年4月～27年3月 実施方法:来園者及びイベント参加者へのアンケート 回答数:207人
-------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満
イベント参加の満足度	88.1%	10.7%	1.2%	0.0%
施設全般の満足度	76.2%	22.1%	1.7%	0.0%

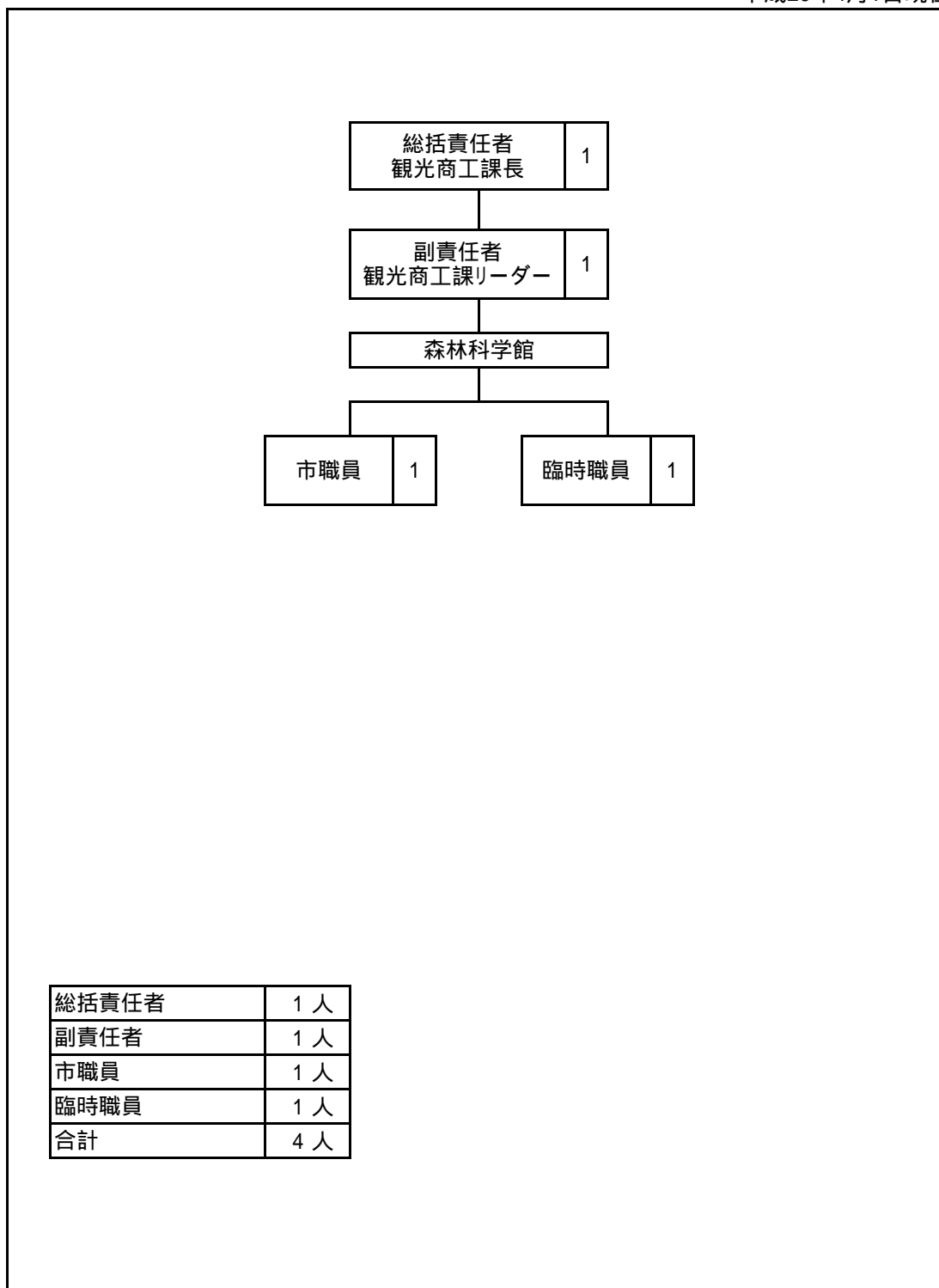
利用者の意見	自然とふれあうイベントを多く開催し、全体の満足度は高かった。改善を求めるものとして、開催イベントの情報発信等、周知に関する意見があった。
利用者の意見への対応	県民の森の立地状況を活かした自然に関するイベントを今後も継続開催する。周知に関する改善意見に対しては、新たに作成したフェイスブックを森林科学館ホームページにリンクさせ、情報発信の強化を図った。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	計画通りに実施できた。特に登山道のパトロール等は入念に行い、安全管理に努めた。	業務計画書どおり適切に維持管理が行われている。老朽化した施設や登山道の調査及び修繕等にも適時に対応しており、評価できる。
運営業務	市の管理する隣接施設と連携し、自治体、学校、福祉施設などの受入れを行ったり、SNSで最新情報を発信するなど施設の活用促進に努めた。	学校等団体への支援事業を行ったり、SNSなどの情報発信を取り入れる等、利用者確保への努力が確認できた。
自主事業	季節毎にコンサートを開催するなど、多くの人に県民の森を訪れていただくきっかけ作りを行った。	業務計画書のとおり実施されている。施設及び楡形山周辺の季節ごとの自然を感じられる事業を行っており、利用者ニーズに合致した事業企画は評価できる。
利用状況	夏期の天候不順の影響もあり、思うように入館者を増やすことはできなかった。冬期も様々なイベントを開催し、魅力発信をすることで入館者の維持に努めた。	夏期の天候不良などの影響により、利用者数の目標は達成できなかったが、魅力ある各種事業の企画により利用者確保に努めたことが確認できた。
収支状況	支出については概ね予算の範囲内で行うことができた。	支出の削減に努め、概ね計画書どおりの収支であった。
利用者満足度	イベントでは登山ツアー、カヌーなど過去にない体験メニューを企画し、参加者の高い満足度を得ることができた。	館内展示及び事業内容に工夫をこらし、高い満足度を得たことは、評価できる。
運営目標の達成状況	H26 森林科学館利用者数 目標値 10,000人 実績値 8,482人 目標値に対し約85%の利用者であった。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	年間利用者数では目標値に届かなかったが、自然を楽しめるイベントを多く開催した結果、高い利用者満足度を得ており、集客に向けた新たな情報発信にも着手していることから、指定管理業務は適正に行われたものと評価できる。 指導事項：利用者増加に向けた情報発信の強化。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	フェイスブックによる情報発信に着手した。	

7 管理体制(組織図)

平成26年4月1日現在



総括責任者	1人
副責任者	1人
市職員	1人
臨時職員	1人
合計	4人